

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

令和 4 年度

事業所名：中標津町児童デイサービスセンター

		チェック項目	はい	いいえ	現状と課題
環境・整備体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		1 日定員数 10 名対して 4 名配置されております。また、職種も公認心理師、言語聴覚士、作業療法士、保育士を配置しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		
	③	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○		職員の資質の向上として、オンラインでの研修の参加や職員間での事例検討を行っております。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	⑥	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		本人支援だけでなく、個々のニーズに合わせて家族支援や地域支援を行っております。普段通所している園施設との連携を行い、集団適応を支援しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	⑪	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑫	個別支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	⑭	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○		

	⑯	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
	⑰	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑲	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当責任者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉒	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		保健センターと共同で保護者向けのスキルアップ研修会を開催し、ペアレントトレーニングプログラムの講義を実施しています。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		教育支援委員会や要保護児童対策地域協議会、自立支援協議会等への協力や釧根地区 ADHD・LD 懇話会中標津支部の活動をサポートしています。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で支援の内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		託児所、保育園、幼稚園、小中学校、特別支援学校、放課後等デイサービス等の町内の保育・教育・福祉施設等との連携を行っております。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門支援機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流する機会があるか		○	
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域のこども・子育て会議等への積極的に参加しているか	○		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○		
保護	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラムの支援を行っているか	○		
	㉛	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		

社 へ の 説 明 責 任 な ど	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	○		今年度は会報の発行回数を増やし、就学相談の流れや研修会開催のお知らせ、保護者同士の連携の場の情報提供を行ってきました。来年度は、保護者同士の交流会の開催を企画していきます。
	③③	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合には迅速にかつ適切に対応しているか	○		
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者対して発信しているか	○		
	③⑦	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		
	③⑧	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	
非 常 時 等 の 対 応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		利用されているお子さんは1回の利用が約1時間(月2～4回)の利用となっており、避難訓練の参加は難しいと考えております。そのため、職員が災害時を想定した訓練を実施し、適切に対応できるように事業所内で対応の確認を行っていきます。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	④⑫	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の診断書に基づく対応がされているか	○		
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。		○	